

平成30年9月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成30年1月25日

上場会社名 K I ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 常雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田地川 章 TEL (045) 822-7101
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績 (平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	10,869	6.4	1,161	121.1	1,245	82.5	654	146.4
29年9月期第1四半期	10,211	△13.5	525	△63.6	682	△53.1	265	△84.5

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 1,497百万円(△11.7%) 29年9月期第1四半期 1,696百万円(△32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	15.81	-
29年9月期第1四半期	6.41	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第1四半期	48,221	15,736	24.2	282.22
29年9月期	45,521	14,240	23.4	256.67

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 11,693百万円 29年9月期 10,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年9月期	-	-	-	-	-
30年9月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年9月期の連結業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	27,000	6.4	2,900	26.4	2,900	19.7	1,900	28.6	45.85
通 期	47,000	4.9	4,000	14.2	3,800	2.6	2,400	18.7	57.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	41,587,061株	29年9月期	41,587,061株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	154,681株	29年9月期	152,363株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	41,433,418株	29年9月期1Q	41,439,190株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成30年9月期の個別業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	110	△ 36.1	△ 450	—	1,500	39.3	1,820	48.1	43.92
通 期	210	△ 35.4	△ 930	—	2,040	101.2	2,440	98.7	58.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両シート部門が売上増となったことにより、前年同期比10.4%増の5,740百万円となりました。

電気機器関連事業につきましては、照明部門及び交通システム部門の信号機保守事業が売上増となったことにより、前年同期比3.5%増の4,727百万円となりました。

住設環境関連事業につきましては、住設機器、環境システム両部門ともに売上減となったことにより、前年同期比8.7%減の401百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比6.4%増の10,869百万円となりました。

損益につきましては、原価低減及び経費削減の効果などにより、営業利益は前年同期比121.1%増の1,161百万円と前年同期に比べ増加しました。また、営業利益の増加を受け、経常利益は前年同期比82.5%増の1,245百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比146.4%増の654百万円と前年同期に比べそれぞれ増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は受取手形及び売掛金の増加1,198百万円、仕掛品の増加384百万円、原材料及び貯蔵品の増加270百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,279百万円増加し、34,774百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の増加467百万円、建物及び構築物の減少37百万円などにより、前連結会計年度末に比べ420百万円増加し、13,447百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ2,699百万円増加し、48,221百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加1,216百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,203百万円増加し、32,484百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益654百万円、非支配株主持分の増加438百万円、その他有価証券評価差額金の増加323百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,496百万円増加し、15,736百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し(前年同期は546百万円の減少)、4,159百万円となりました(前年同期比16.9%増)。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は128百万円(前年同四半期は925百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,245百万円、仕入債務の増加1,174百万円などの増加に対し、売上債権の増加1,053百万円、たな卸資産の増加616百万円、法人税等の支払額474百万円などの減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は71百万円(前年同四半期は67百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出63百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5百万円(前年同四半期は312百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月25日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,090	4,159
受取手形及び売掛金	19,652	20,851
製品	3,193	3,227
仕掛品	1,488	1,872
原材料及び貯蔵品	4,004	4,275
繰延税金資産	127	86
その他	151	462
貸倒引当金	△212	△159
流動資産合計	32,494	34,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,389	2,351
機械装置及び運搬具（純額）	124	117
工具、器具及び備品（純額）	223	222
土地	2,971	2,971
有形固定資産合計	5,708	5,662
無形固定資産		
	169	165
投資その他の資産		
投資有価証券	6,722	7,190
繰延税金資産	104	104
その他	444	445
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	7,149	7,618
固定資産合計	13,027	13,447
資産合計	45,521	48,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,576	9,793
短期借入金	4,500	4,500
1年内返済予定の長期借入金	1,013	1,008
未払法人税等	299	222
賞与引当金	436	234
その他	3,054	3,264
流動負債合計	17,881	19,023
固定負債		
長期借入金	8,000	8,000
繰延税金負債	982	1,126
役員退職慰労引当金	281	292
環境対策引当金	185	185
退職給付に係る負債	3,882	3,793
その他	68	63
固定負債合計	13,399	13,461
負債合計	31,281	32,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△9,248	△8,594
自己株式	△55	△56
株主資本合計	8,120	8,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,195	2,519
為替換算調整勘定	278	354
退職給付に係る調整累計額	40	44
その他の包括利益累計額合計	2,514	2,917
非支配株主持分	3,605	4,043
純資産合計	14,240	15,736
負債純資産合計	45,521	48,221

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,211	10,869
売上原価	8,307	8,485
売上総利益	1,903	2,384
販売費及び一般管理費	1,378	1,223
営業利益	525	1,161
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	24	26
為替差益	82	16
受取ロイヤリティー	64	—
貸倒引当金戻入額	17	56
その他	22	36
営業外収益合計	222	145
営業外費用		
支払利息	62	54
その他	2	7
営業外費用合計	65	61
経常利益	682	1,245
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	681	1,245
法人税等	110	226
四半期純利益	570	1,018
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	265	654
非支配株主に帰属する四半期純利益	304	363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	408	323
為替換算調整勘定	705	151
退職給付に係る調整額	11	4
その他の包括利益合計	1,126	478
四半期包括利益	1,696	1,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,070	1,058
非支配株主に係る四半期包括利益	625	438

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	681	1,245
減価償却費	94	105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20	△55
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△79	△85
賞与引当金の増減額(△は減少)	△249	△202
受取利息及び受取配当金	△35	△35
支払利息	62	54
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除売却損益(△は益)	0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△632	△1,053
たな卸資産の増減額(△は増加)	△726	△616
仕入債務の増減額(△は減少)	505	1,174
その他	△210	89
小計	△570	620
利息及び配当金の受取額	43	37
利息の支払額	△62	△55
法人税等の支払額	△337	△474
営業活動によるキャッシュ・フロー	△925	128
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61	△63
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	900	—
長期借入金の返済による支出	△15	△5
非支配株主への配当金の支払額	△571	—
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	312	△5
現金及び現金同等物に係る換算差額	134	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△546	68
現金及び現金同等物の期首残高	4,105	4,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,558	4,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,202	4,569	440	10,211	—	10,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	454	179	—	633	△633	—
計	5,656	4,749	440	10,845	△633	10,211
セグメント利益 (△は損失)	889	△152	△9	727	△202	525

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△202百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,740	4,727	401	10,869	—	10,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	808	307	—	1,116	△1,116	—
計	6,549	5,034	401	11,986	△1,116	10,869
セグメント利益 (△は損失)	936	412	△2	1,346	△185	1,161

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△185百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。